

# 防犯対策委員会

発表日 平成29年11月28日  
発表者 防犯対策委員会 委員長  
十倉 康吉

1

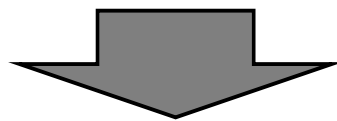
## 犯罪から見た日本の状況

「日本は凶悪犯罪が少なく安全な国である」

人口10万人あたりの殺人件数(世界194カ国)

世界平均 8.7件

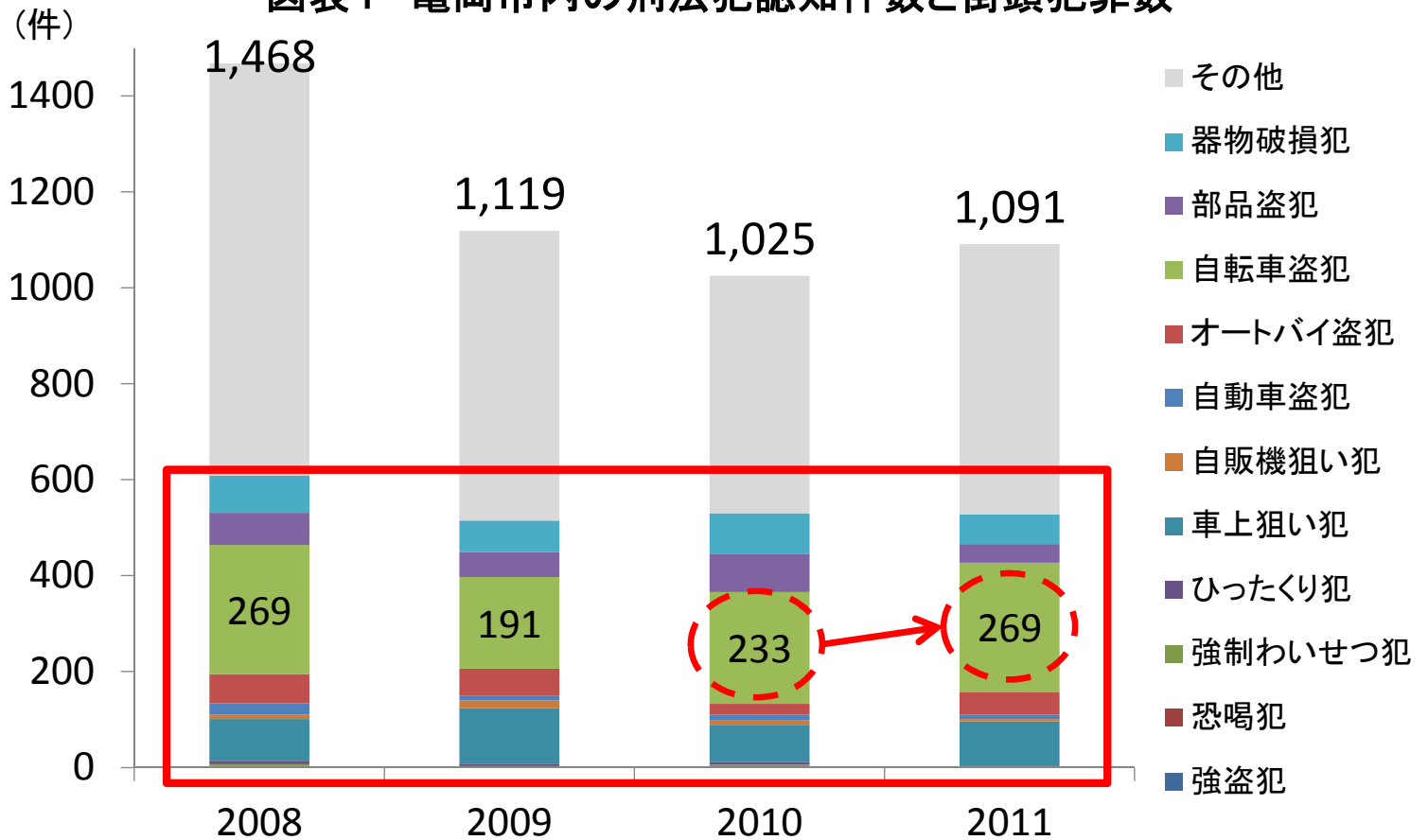
日 本 0.4件(193位/194カ国)



日本は、凶悪犯が少なく、世界の中でも安全な国である。

# 防犯対策の必要性

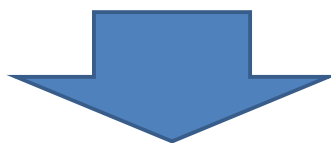
図表1 亀岡市内の刑法犯認知件数と街頭犯罪数



3

# 防犯対策の必要性

減少傾向であった刑法犯が2011年に増加し、特に自転車盗が15%増加した



2011年

防犯対策委員会の設置

4

# 防犯対策委員会構成

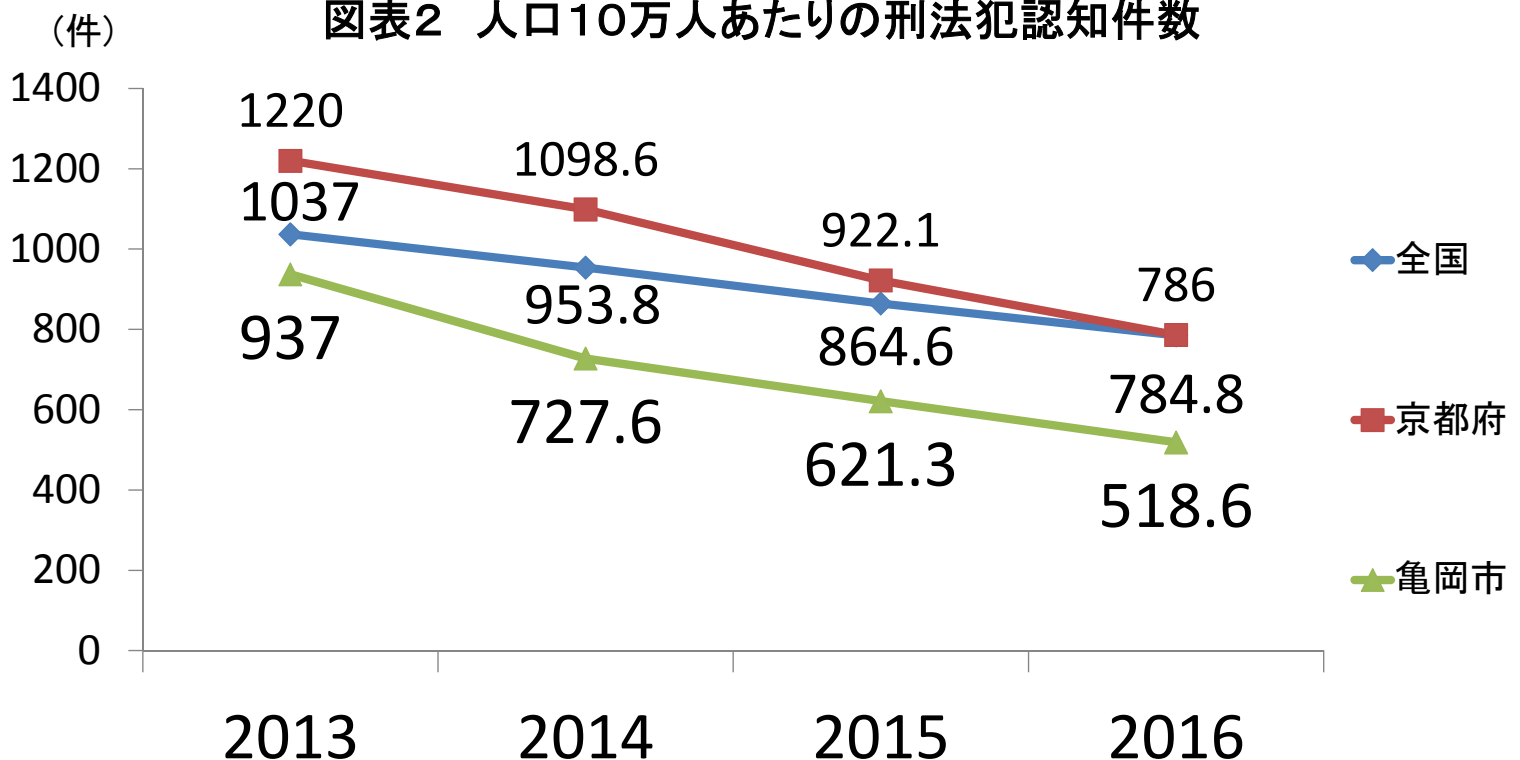
区分		所属団体	役職
市民団体等	1	亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長	委員長
	2	亀岡市青少年育成地域活動協議会 副会長	副委員長
	3	亀岡防犯推進委員連絡協議会 <b>NEW</b>	
	4	並河駅前防犯ステーション会議 会長	
関係機関等	5	京都学園大学経済経営学部 准教授 <b>NEW</b>	
	6	亀岡警察署生活安全課 課長	
	7	亀岡警察署地域課 課長	
	8	亀岡市立曾我部小学校 校長 <b>NEW</b>	
	9	亀岡市立亀岡川東学園 校長 <b>NEW</b>	
行政関係	10	京都府安心・安全まちづくり推進課 副課長	
	11	亀岡市総務部 部長	
	12	亀岡市学校教育課 課長	

5

## 亀岡市の犯罪の現状

「亀岡市は全国、京都府と比較して犯罪が少ない」

図表2 人口10万人あたりの刑法犯認知件数



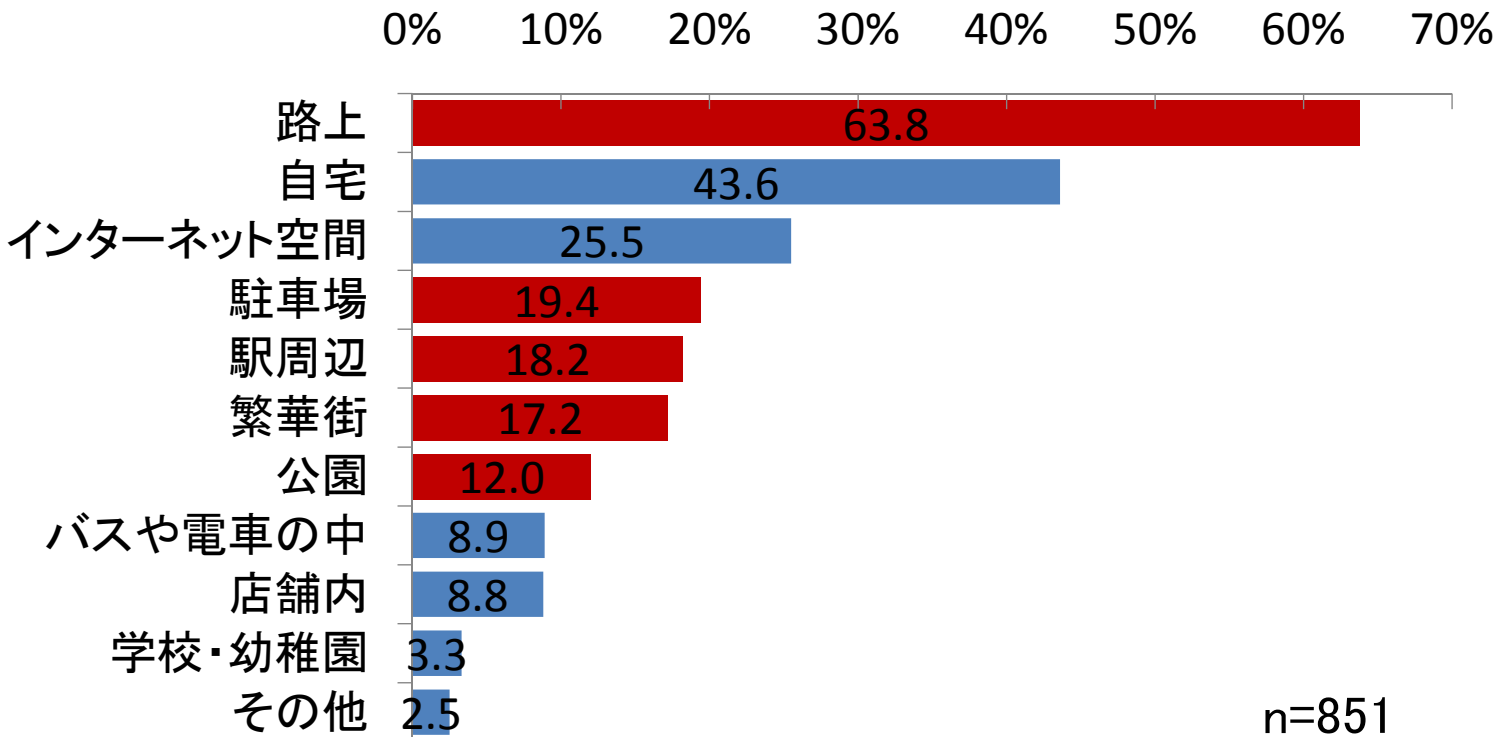
出典: 犯罪統計書(2013-2016)

6

# データに基づく客観的課題

「半数以上の人が屋外での犯罪に不安を感じている」

図表3 日常生活の中で犯罪に巻き込まれる不安がある場所

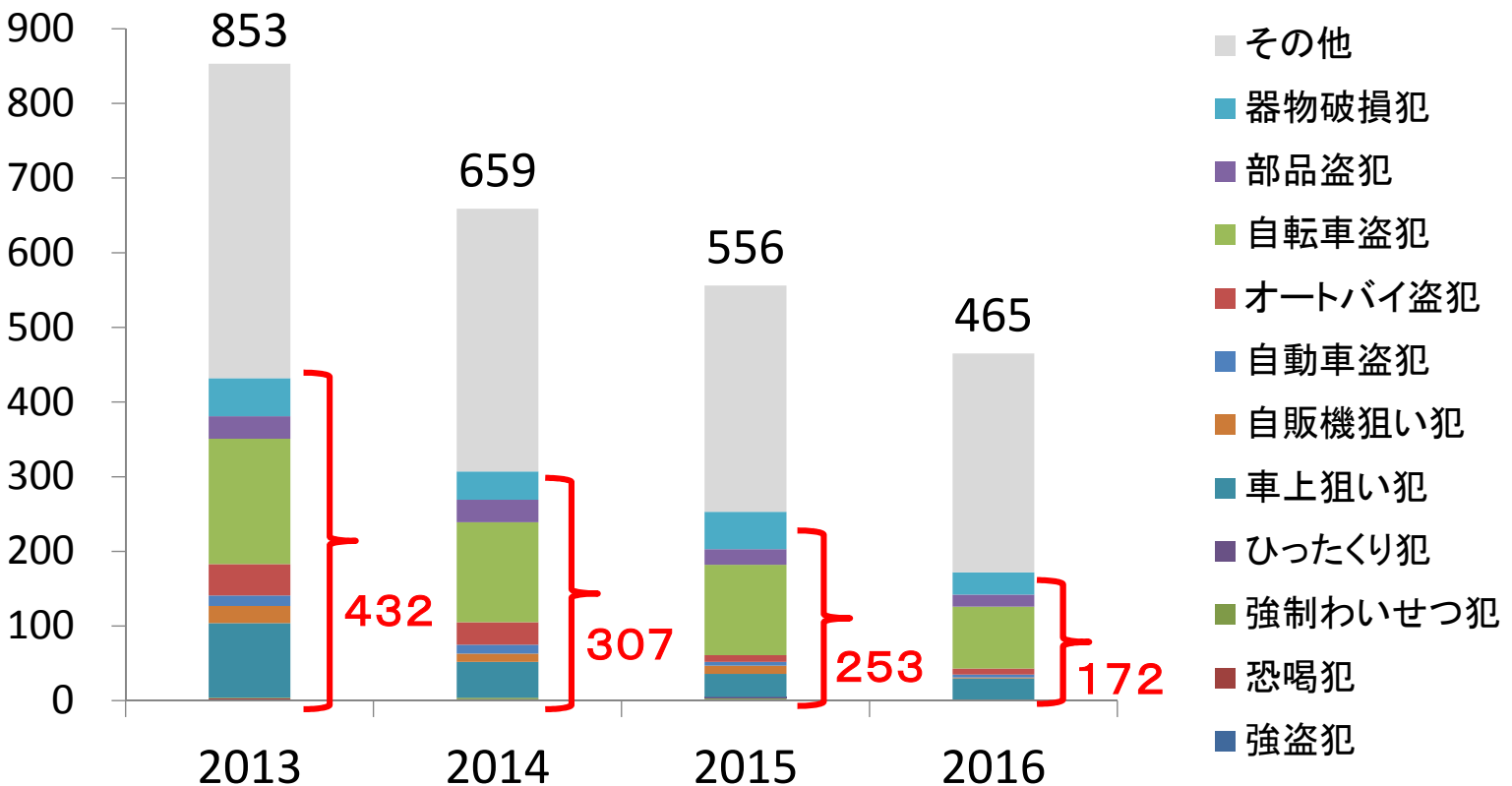


出典: 京都府警察本部(2016) 7

# データに基づく客観的課題

「刑法犯全体の中で街頭犯罪が約半数を占めている」

図表4 亀岡市内の刑法犯認知件数と街頭犯罪数

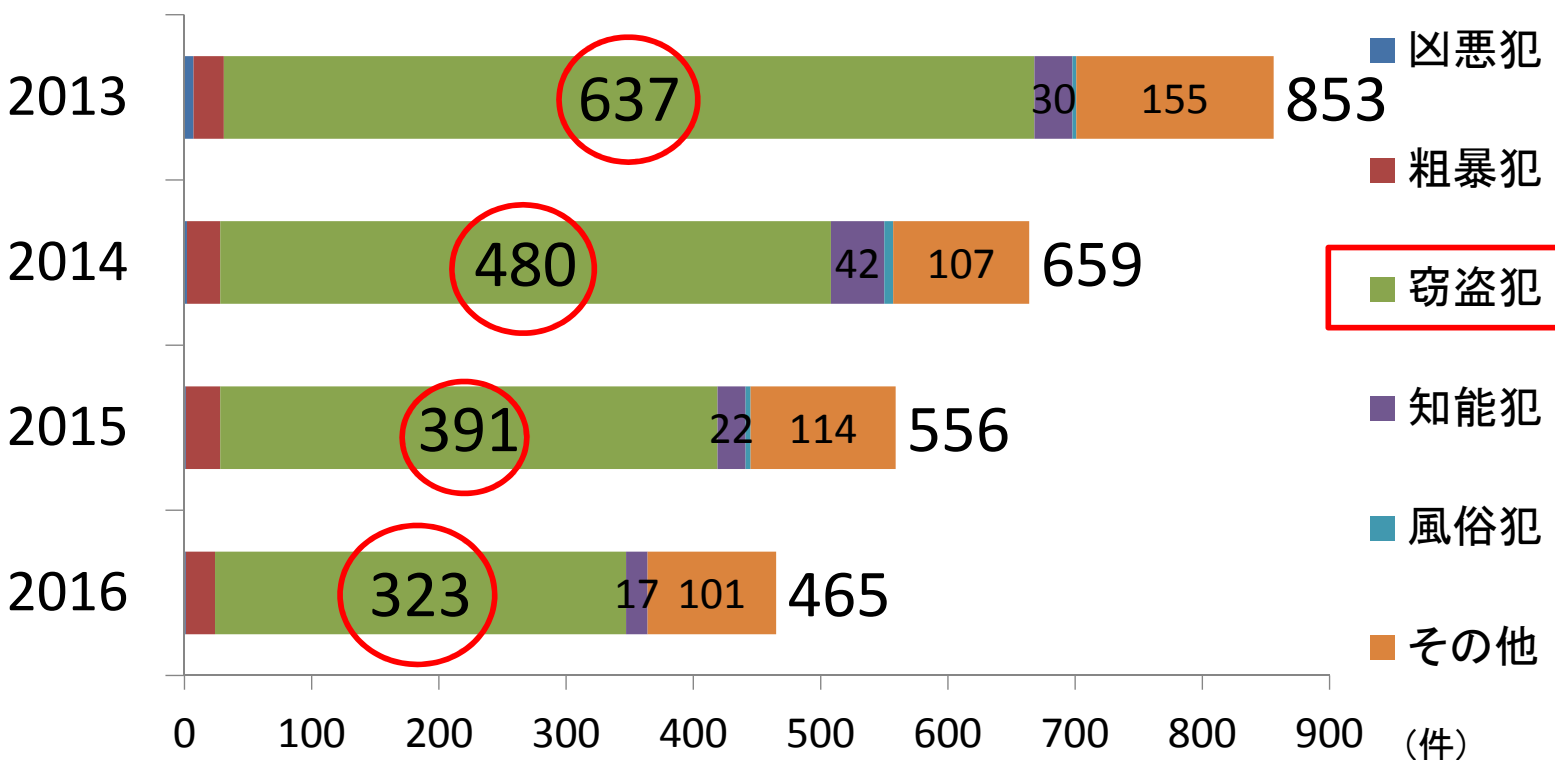


出典: 犯罪統計書 8

# データに基づく客観的課題

## 「刑法犯の中では窃盗犯が最も多い」

図表5 亀岡市の刑法犯認知件数の内訳

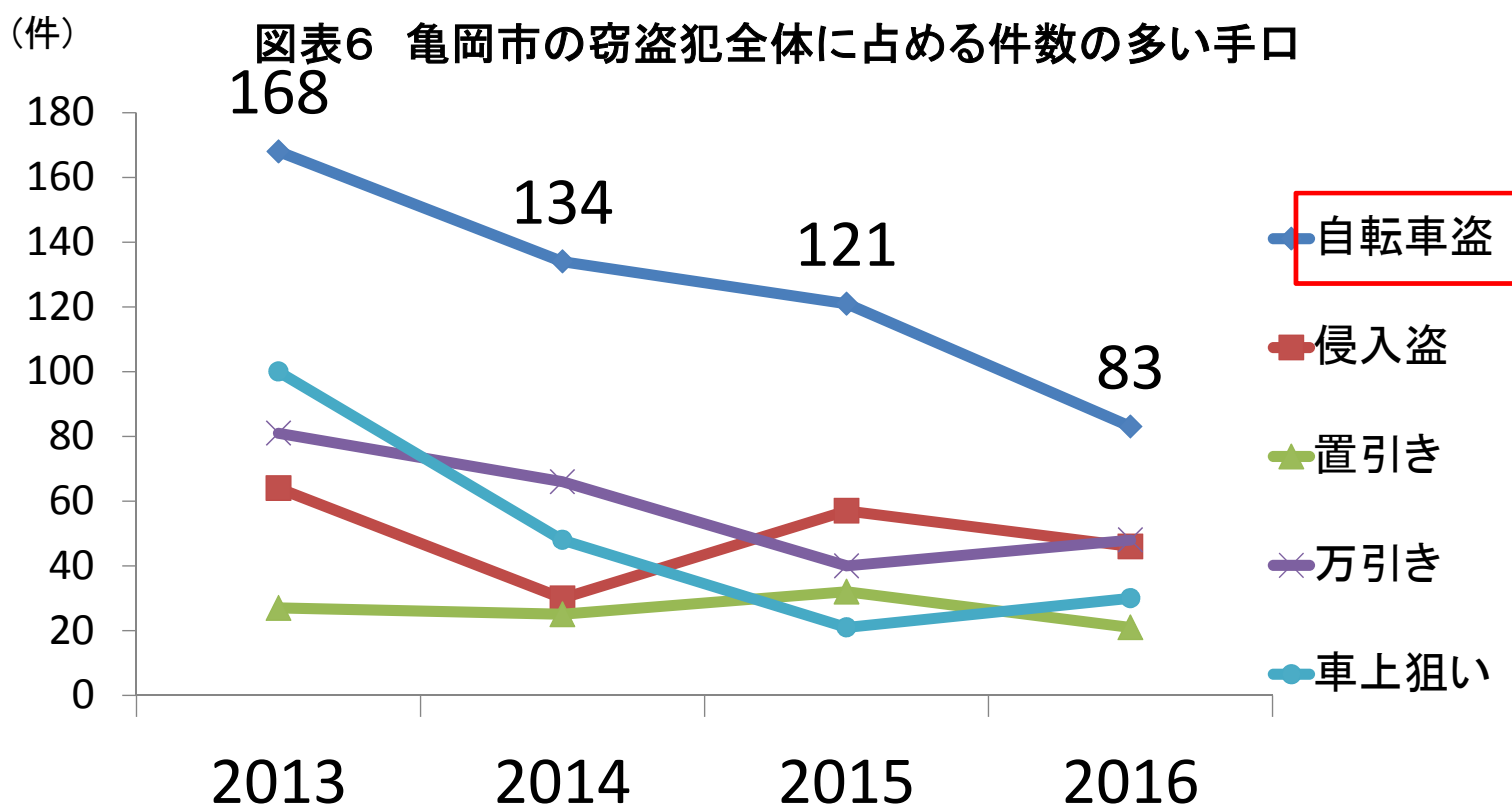


出典: 犯罪統計書(2013-2016) 9

# データに基づく客観的課題

## 「窃盗犯の中では自転車盗が最も多い」

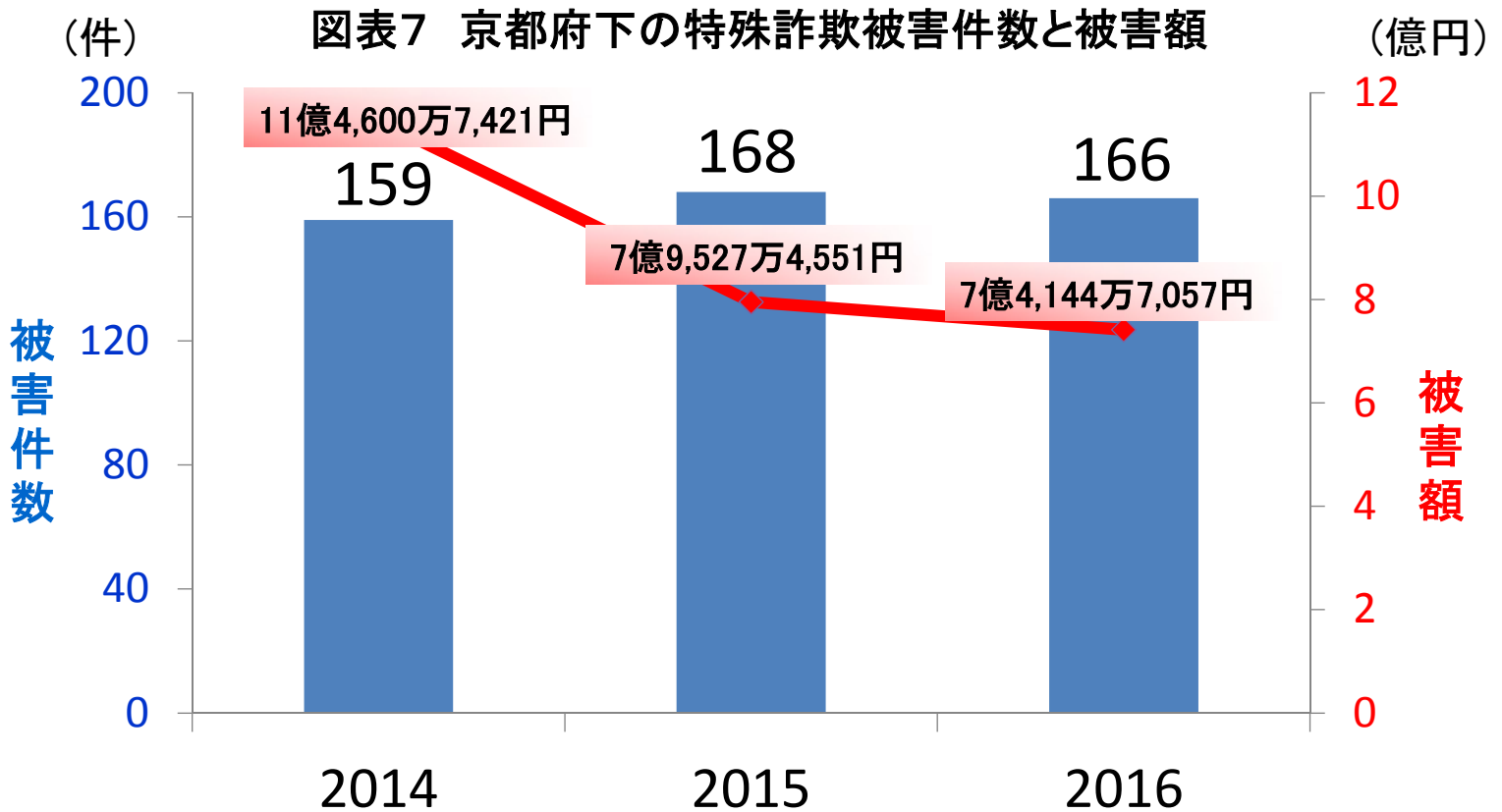
図表6 亀岡市の窃盗犯全体に占める件数の多い手口



出典: 犯罪統計書(2013-2016) 10

# データに基づく客観的課題

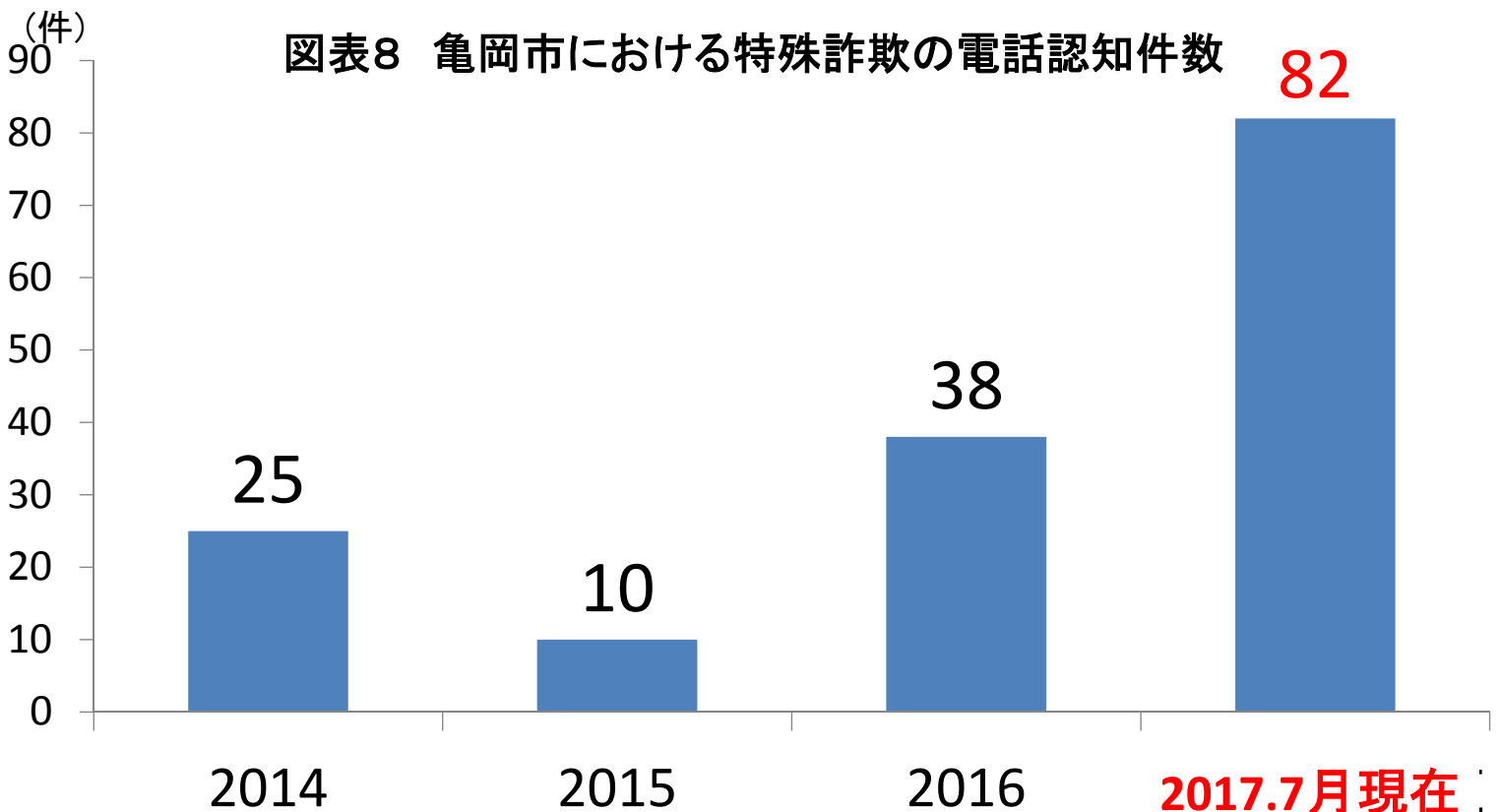
## 「特殊詐欺被害件数は減少せず、被害額も大きい」



出典：京都府警察本部 11

# データに基づく客観的課題

## 「特殊詐欺の予兆電話が増加している」



出典：亀岡警察署 12

# 主観的・客観的課題の整理

データに基づくもの	経験に基づくもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・刑法犯全体の中で街頭犯罪の発生件数や街頭犯罪に不安を感じる人の割合が約半数を占めている(図表3、4)</li> <li>・刑法犯全体の中では窃盗犯の割合が最も高い(図表5)</li> <li>・窃盗犯の中では自転車盗が最も多い(図表6)</li> <li>・特殊詐欺は被害額が大きく、電話件数が急増している(図表7、8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車盗は将来の重大な犯罪につながる(割れ窓理論)</li> </ul>

## 重点課題の設定

13

## 課題解決のための方向性と対策

課題	方向性	対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊詐欺は被害額が大きく、電話が急増している</li> </ul>	市民の防犯意識向上	①防犯意識向上プログラム
<ul style="list-style-type: none"> <li>・刑法犯全体の中で街頭犯罪が約半数を占めている</li> <li>・自転車盗は将来の重大な犯罪につながる</li> </ul>	自転車盗を中心とした街頭犯罪の防止	②固定防犯カメラ活用プログラム
		③ドライブレコーダー活用プログラム

14

# レベル別の対策

別添資料を  
御覧ください

15

## プログラムの運営状況

	再認証	進行状況				計画(予定)	
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
①防犯意識 向上プログラム							
防犯カメラ活用 プログラム							
②固定防犯カメラ 活用プログラム							
③ドライブレコーダー 活用プログラム							

固定防犯カメラ活用プログラムとドライブレコーダー活用プログラムに移行

16



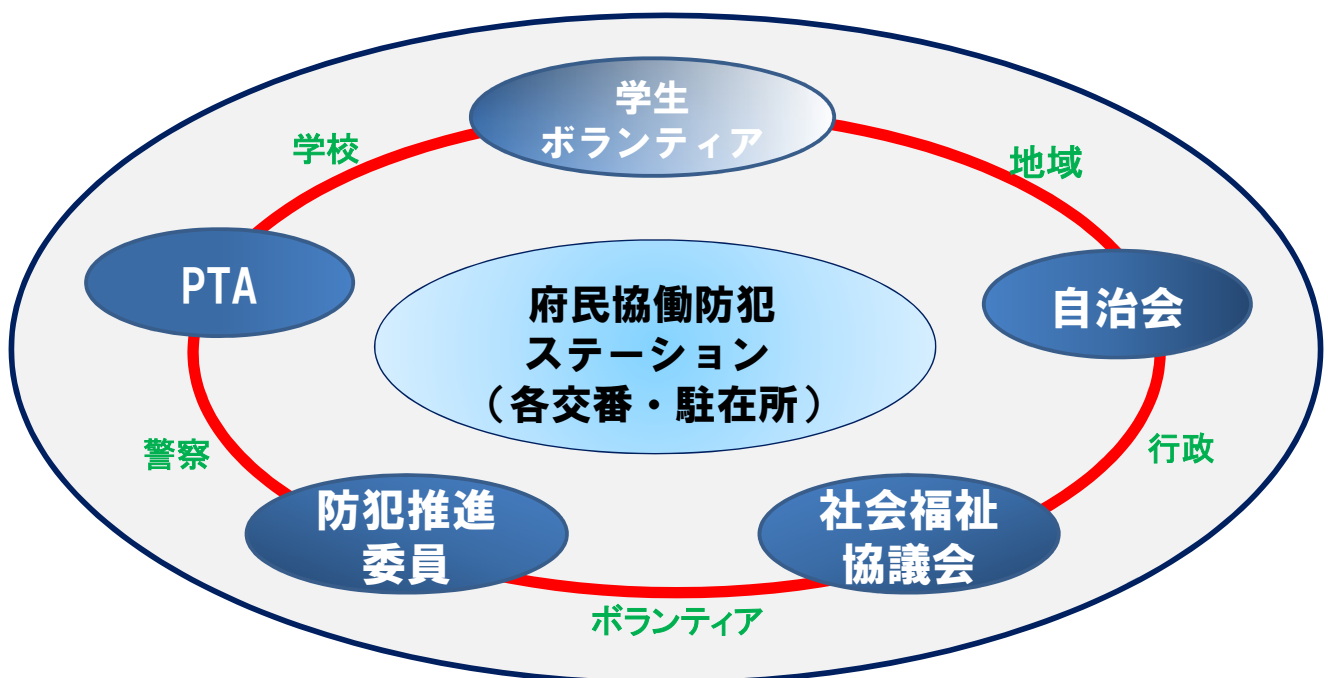
# ①防犯意識向上プログラム

課 題	特殊詐欺や自転車盗の被害が多い	
目 標	特殊詐欺や自転車盗などの被害者の立場でも未然に防止することができるものの防犯意識を向上させる。	
内容等	【内容】	地域の安全安心に関わる様々な団体と行政・警察が一体となって防犯に関する情報共有や啓発活動等により多様化する犯罪に対して抑止策を図る。
	【対象】	亀岡市民(学生、高齢者を中心)
(短・中期) 態度や行動の 変化	【指標】 府民協働防犯ステーション活動件数	【測定】 京都府警察本部へ照会
(長期) 状態や状況の 変化	【指標】 自転車盗件数 特殊詐欺件数	【測定】 亀岡警察署へ照会 犯罪統計

17

## 防犯意識向上プログラムの活動状況

### 府民協働防犯ステーション



18

# 防犯意識向上プログラムの活動状況

## 府民協働防犯ステーション会議



## ワークショップの様子



各ステーションが交流しワークショップを実施

19

# 防犯意識向上プログラムの活動状況

## 府民協働防犯ステーションの活動事例

2016年 合計 3,304件の活動（14ステーション）

- 小学校における不審者対応制圧訓練
- 幼稚園における不審者侵入訓練と人形劇
- 高齢者グループホームにおける防犯教室
- 消防団との夜間合同パトロール
- レディースパトロール
- 高校野球部員との児童見守り活動
- 小学校での防犯寸劇披露
- 保育所における防犯教室

20

# 防犯意識向上プログラムの活動状況

6/9(ロックの日)街頭啓発



愛錠啓発



対策委員会の委員、市内の防犯ボランティア、高校・大学生が協力して自転車盗対策の啓発活動

21

# 防犯意識向上プログラムの活動状況

防犯推進委員による寸劇



老人会での啓発



対策委員会の委員や警察、防犯推進委員による高齢者への特殊詐欺警戒の呼びかけ

22



# 防犯意識向上プログラムの活動状況

## 青色防犯パトロール



青パト台数120台  
(2017年8月末  
現在)

亀岡市内22団体、302名、合計台数120台の青色防犯パトロールによる市内全域での啓発・見守り活動

23

## 防犯意識向上プログラムの活動実績

	実績				対策委員会の関わり	工夫点
	2013	2014	2015	2016		
防犯に関する合同啓発活動	2回	2回	2回	5回	啓発活動への参加 (駅前での自転車盗や特殊詐欺被害防止啓発等)	街頭活動や広報紙など多様な啓発の実施
府民協働防犯ステーション活動件数		2,758件	4,287件	3,304件	委員が各ステーションの活動に参加	防犯ボランティアや自治会など、様々な立場の方が参加

24

# プログラム評価結果(短期・中期)

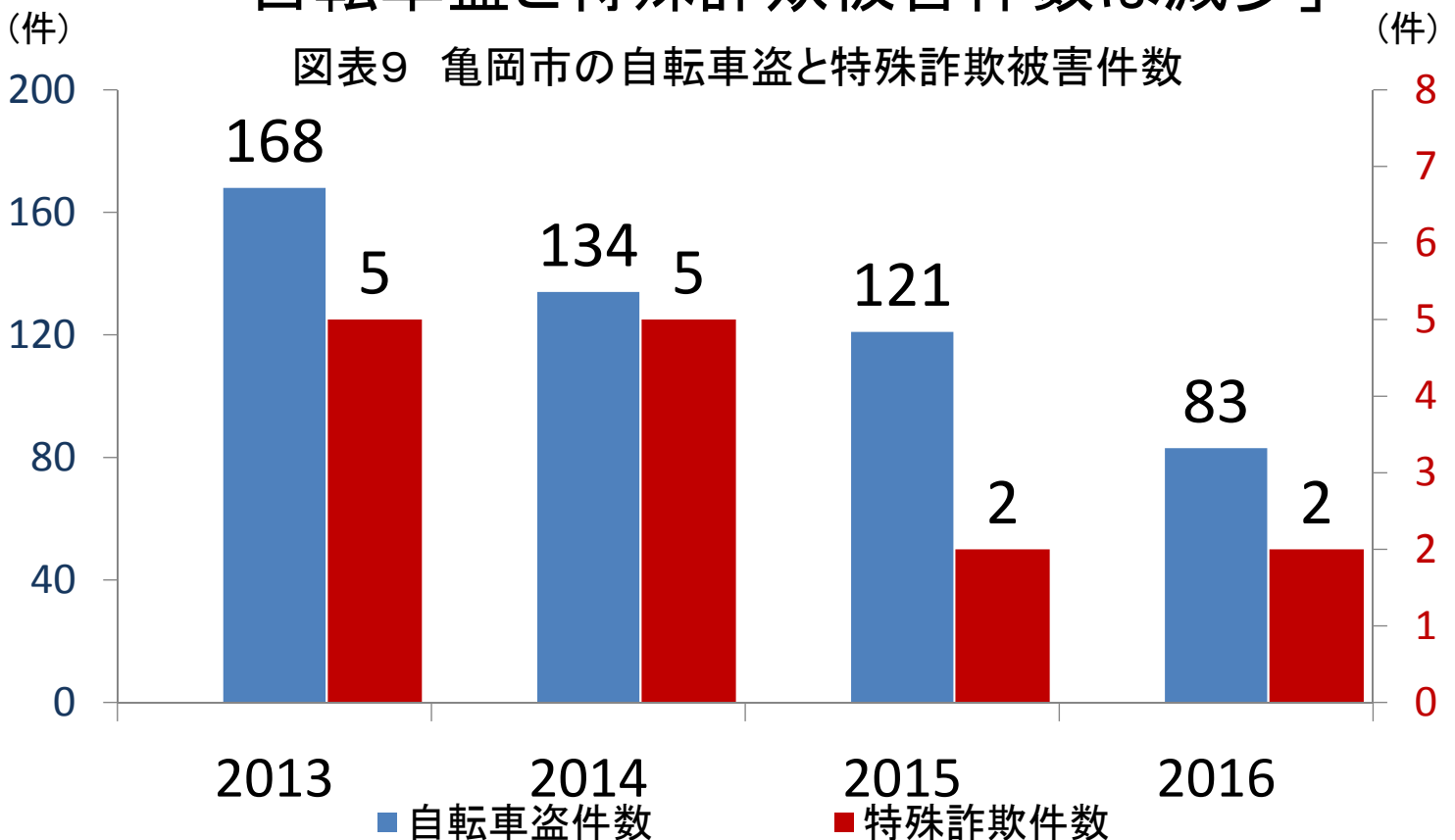
府民協働防犯ステーション 活動件数			
短・中期	2014	2015	2016
活動件数	2,758件	4,287件	3,304件

出典: 京都府警察本部(2014~2016)

25

# プログラム評価結果(長期)

## 「自転車盗と特殊詐欺被害件数は減少」



出典: 犯罪統計書(2013-2016)

26

## ②固定防犯カメラ活用プログラム

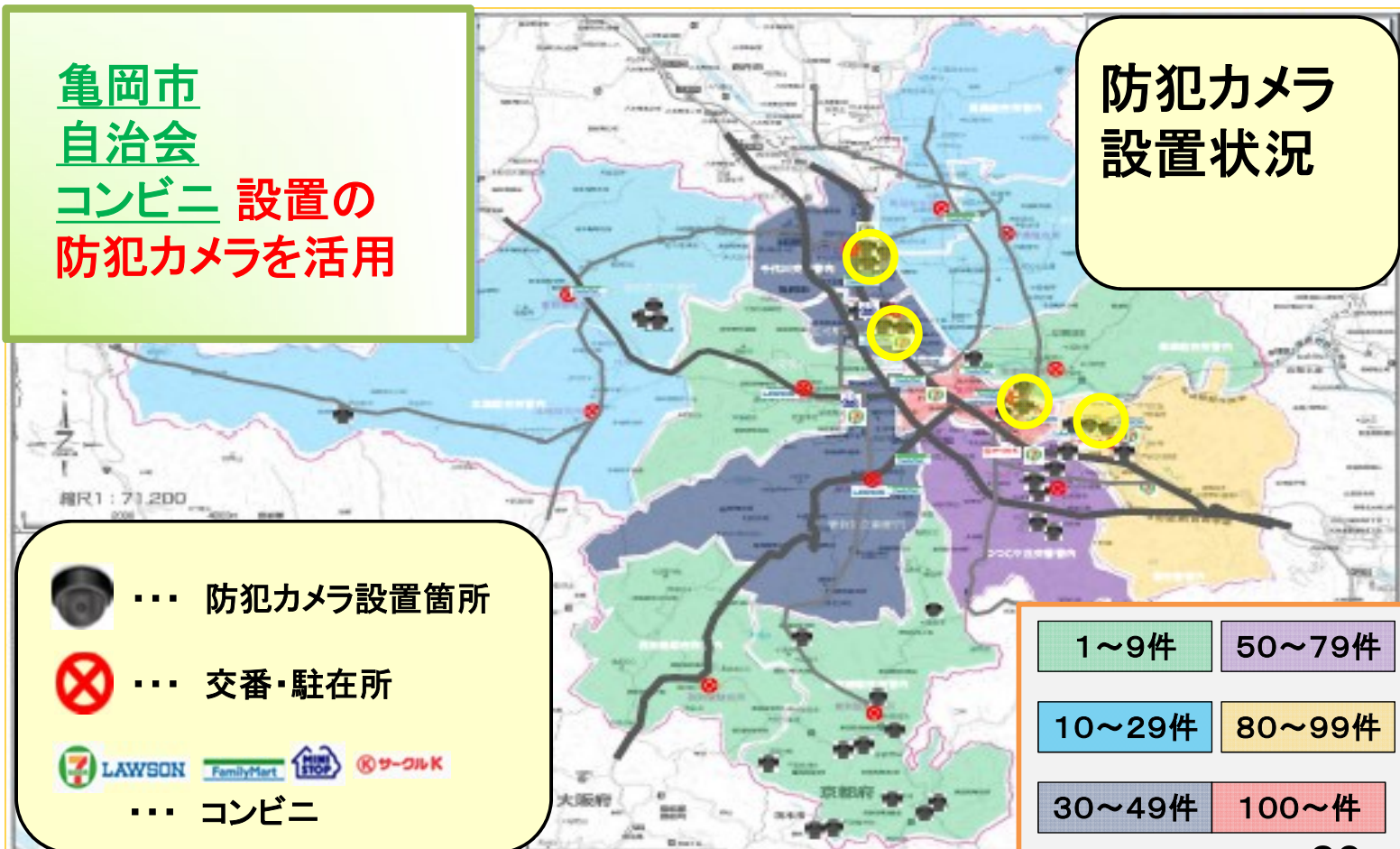
課 題	自転車盗等の街頭犯罪の件数が多い	
目 標	自転車盗を中心とした街頭犯罪を防止する	
内容等	【内容】	防犯カメラを設置することで自転車盗を防止する。
	【対象】	亀岡市民
(短・中期) 態度や行動の 変化	【指標】 防犯カメラ認知率	【測定】 セーフコミュニティア ンケート調査
(長期) 状態や状況の 変化	【指標】 街頭犯罪認知件数 自転車盗数	【測定】 犯罪統計

27

## 固定防犯カメラ活用プログラムの活動状況

亀岡市  
自治会  
コンビニ 設置の  
防犯カメラを活用

防犯カメラ  
設置状況



28

# 固定防犯カメラ活用プログラムの活動状況

●亀岡市 15台

●自治会 17台

●コンビニ 43台 (店外撮影用)

〈かめおかコンビニセーフティネットワーク加盟店29店舗〉

合計 75台で見守り



29

# 固定防犯カメラ活用プログラムの活動実績

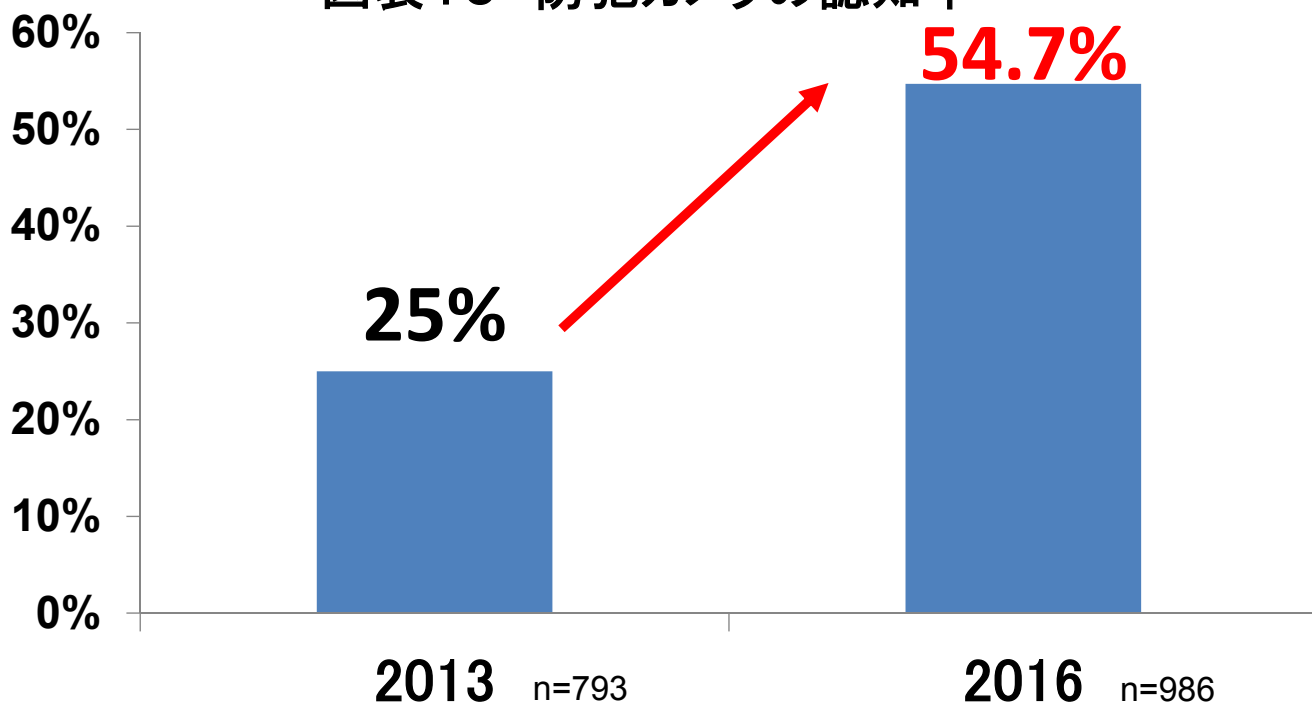
	実績				対策委員会の関わり	工夫点
	2013	2014	2015	2016		
防犯カメラ設置	亀岡市				●効果的な設置箇所の検討	犯罪多発場所に設置
	5台	2台	2台	1台		
防犯カメラ設置	自治会				●委員から各自治会へ設置補助制度の周知	自治会と協働し広域化に対応
			5台	12台		
かめおかコンビニセーフティネットワークとの連携	—	—	—	29店舗 43台	●防犯カメラ設置状況の確認	店外撮影の防犯カメラ有効活用

30

# プログラム評価結果（短期・中期）

## 「防犯カメラの設置認知率は向上」

図表10 防犯カメラの認知率



出典：亀岡市セーフコミュニティアンケート調査

31

### ③ドライブレコーダー活用プログラム

課 題	自転車盗等の街頭犯罪の件数が多い	
目 標	自転車盗を中心とした街頭犯罪を防止する	
内容等	【内容】	市民や市内企業が設置しているドライブレコーダーを活用し、「まちの見守り体制」を充実・強化することで、犯罪・交通事故発生の抑止と早期解決を図る。
	【対象】	亀岡市民、市内企業・団体
(短・中期) 態度や行動の 変化	【指標】 見守り協定認知率 「まち・レコ」プロジェクト認知率	【測定】 セーフコミュニティア ンケート調査
(長期) 状態や状況の 変化	【指標】 街頭犯罪認知件数 自転車盗数	【測定】 犯罪統計



# ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

## ドライブレコーダーによるまちの見守り協定



**事業者・亀岡警察署、亀岡市の三者が連携**

**バス会社、タクシー会社、新聞会社、社会福祉法人、電力会社、警備会社と協定締結**

**合計8社 277台**

33

# ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

## ドライブレコーダーによるまちの見守り協定

捜査用提供のドライブレコーダー映像

**痴漢逮捕の決め手に**

亀岡署が京阪京都交通へ 感謝状送る

捜査用に提供を受けたドライブレコーダーの映像が痴漢の容疑者逮捕の決め手になったとして、亀岡署はこのほど、京阪京都交通（京都市南区）に感謝状を贈った。

同署が4月に地元事業所などと結んだ協定に基づき映像の提供を受けた。協定先からの映像が直接捜査につながったのは初めて。

発生したのは、6月に市内で発生した痴漢容疑の事案で、7月に男を逮捕した。自転車の男が女性の体を触る事案が連続発生したため、同社

に依頼し、映像を預かしたところ、男が被害者の後を付けている様子が確認でき、逮捕に結び付いたという。

安町の同署で感謝状の贈呈式があり、京阪京都交通の山田敏貴運輸部長は「市民の安全を守るため、今後も積極的に連携したい」と話した。

同署は「協定締結で素早く、緊密な情報交換ができるようになった」といい、今後も幅広い事業所に協力を呼び掛けるとしている。

(森大樹)

亀岡で女性誘拐 強姦未遂の疑い

府警、男を逮捕

京都府警捜査1課と亀岡署は27日、わいせつ目的誘拐と強姦未遂の疑いで、大阪市東淀川区淡路二丁目、会社員茶園寛容疑者（38）を逮捕した。

逮捕容疑は、3日午前0時45分ごろ、亀岡市内の路上で、同市のアルバイト女性（20）に道案内を求めて軽ワゴン車に乗せて連れ去り、車内で体を押さえつけて性的暴行をしようとした疑い。

府警によると、女性は約2時間後、市内の駐車場で解放されたという。

平成28年9月28日の記事

平成28年9月15日の記事

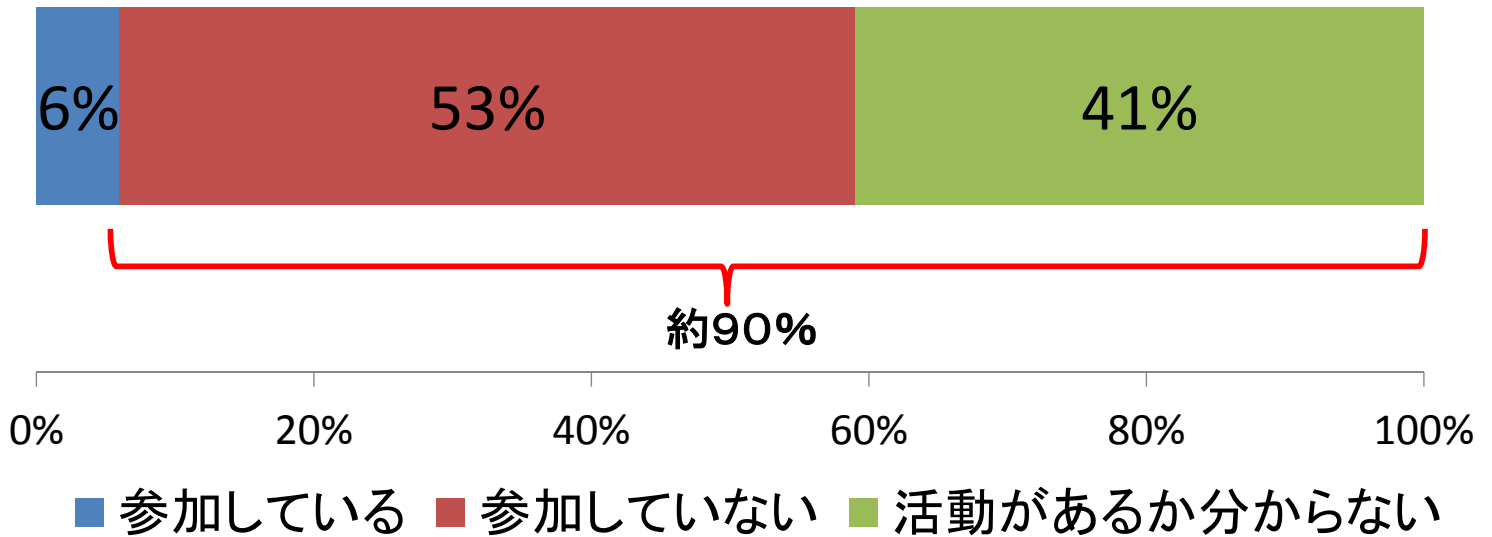
**市内で発生した2件の事案解決の決め手に**

34

# ドライブレコーダー活用プログラムに係る参考データ

## 「地域の防犯活動には約90%の人が参加していない」

図表11 防犯活動への参加状況



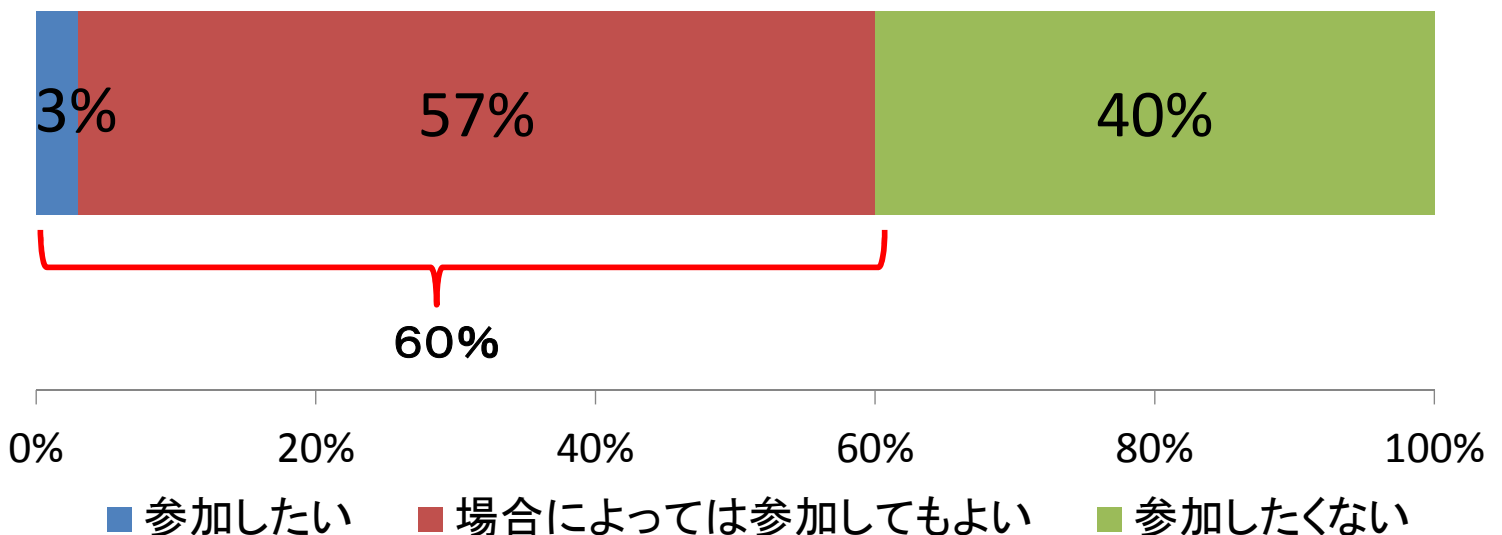
(n=772)

出典: 2016年亀岡市セーフコミュニティアンケート調査 35

# ドライブレコーダー活用プログラムに係る参考データ

## 「防犯活動には60%の人が参加してもよいと感じている」

図表12 防犯活動に参加していない人の活動への参加意欲

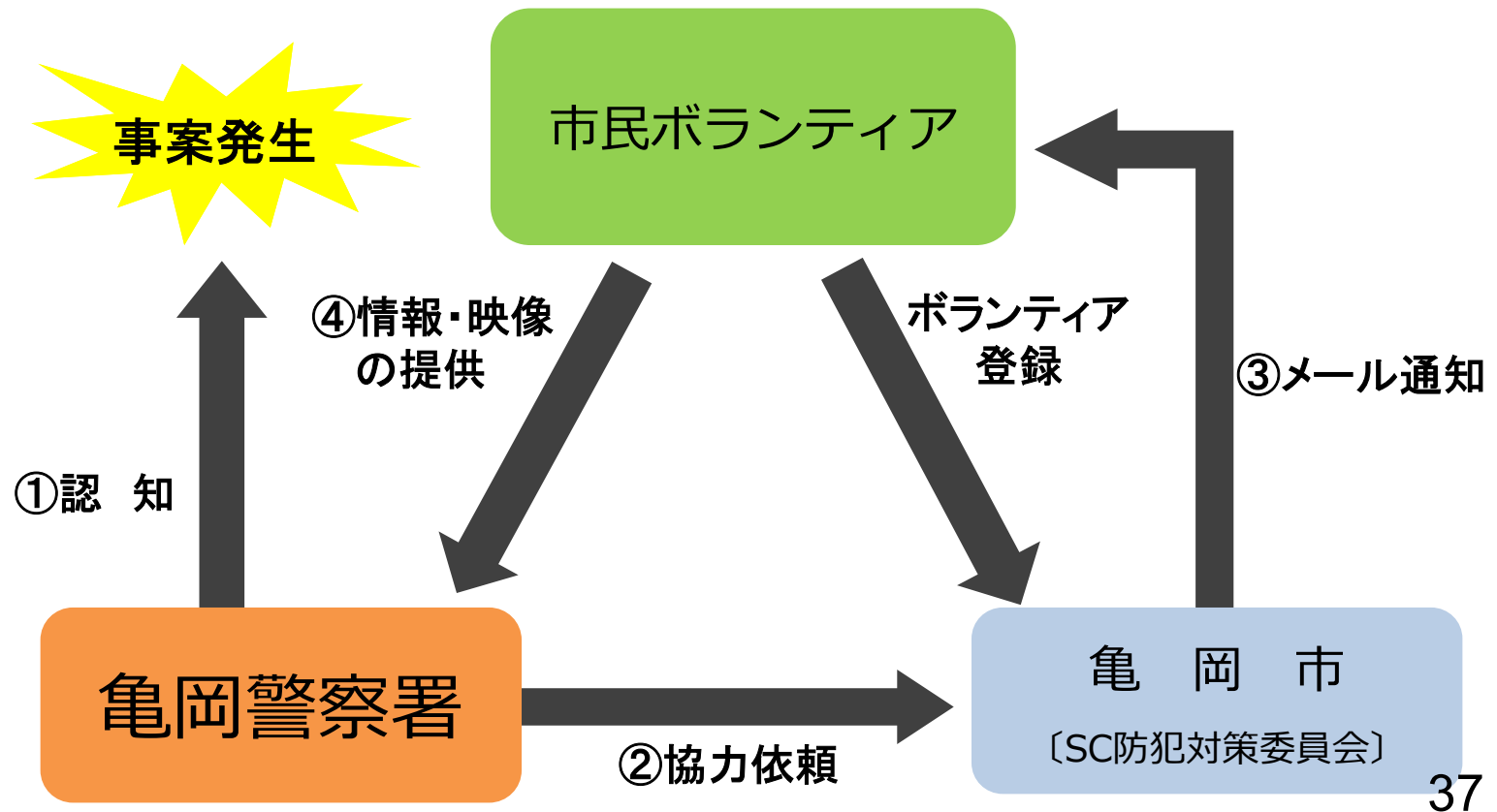


(n=818)

出典: 2016年亀岡市セーフコミュニティアンケート調査 36

# ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

## かめおか「まち・レコ」プロジェクト



37

# ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

## かめおか「まち・レコ」プロジェクト



38



# ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

## かめおか「まち・レコ」プロジェクト

シンボルマークの  
デザインを交通安  
全対策委員会と  
合同で審査・決定

応募総数81点

39

# ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

## かめおか「まち・レコ」プロジェクト

交通安全対策委員会と合同表彰式



40

# ドライブレコーダー活用プログラムの活動実績

	実績		対策委員会の関わり	工夫点
	2015	2016		
ドライブレコーダー協定締結	内容検討	5社	企画の発案、締結企業の提案	様々な時間帯に広範囲で活動している企業を選定
「まち・レコ」プロジェクト運用		内容検討	企画の発案、内容検討	マグネットステッカーを貼って活動することにより、周知と抑止を図る。

41

## プログラム評価結果（短期・中期）

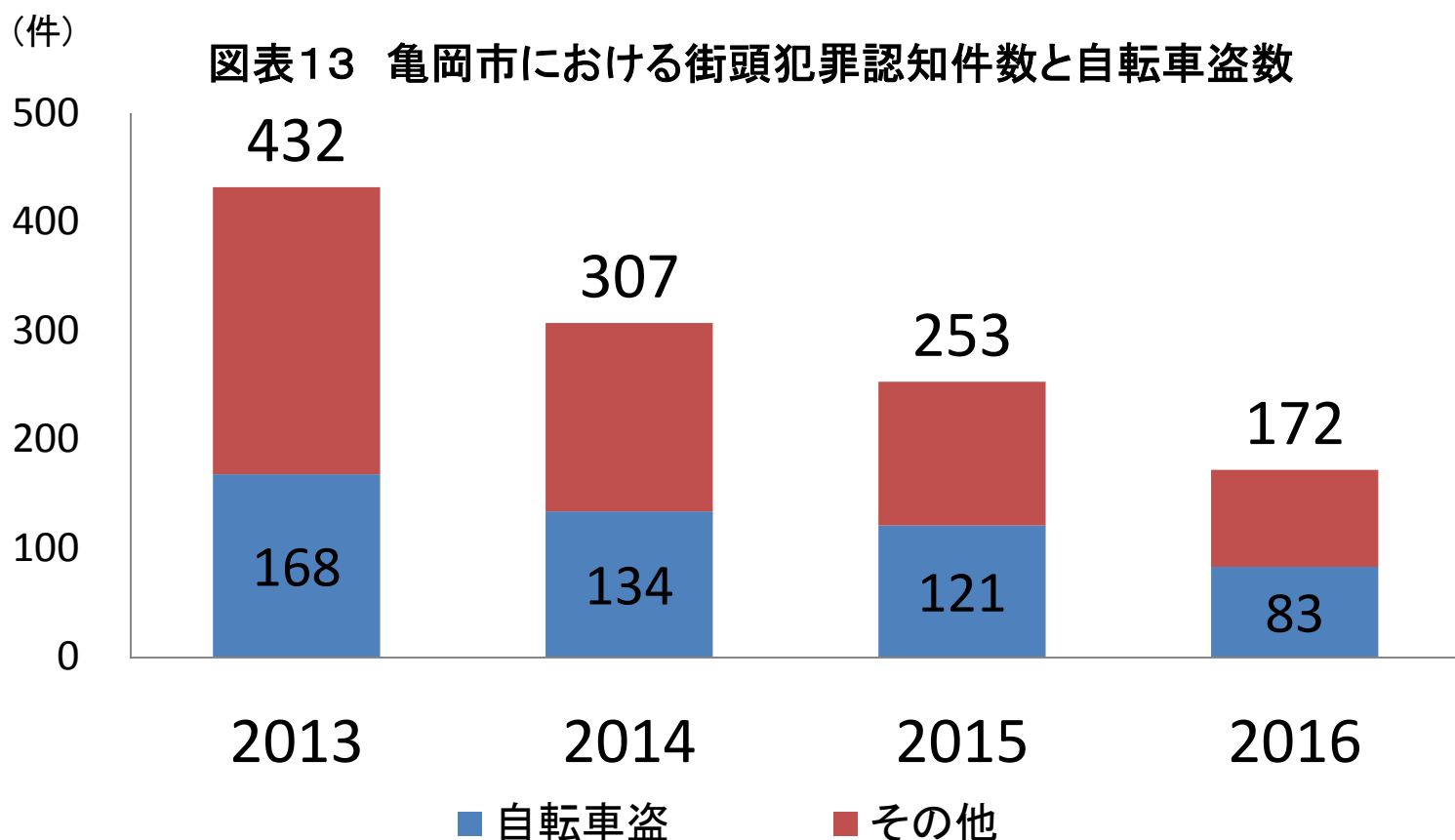
「ドライブレコーダーによるまちの見守り協定」の認知率	
短・中期	2016
見守り協定の認知率（%）	29.4%
出典：2016年 亀岡市セーフコミュニティアンケート調査	

42

# プログラム②、③に関する評価結果(長期)

## 「街頭犯罪と自転車盗は減少している」

図表13 亀岡市における街頭犯罪認知件数と自転車盗数

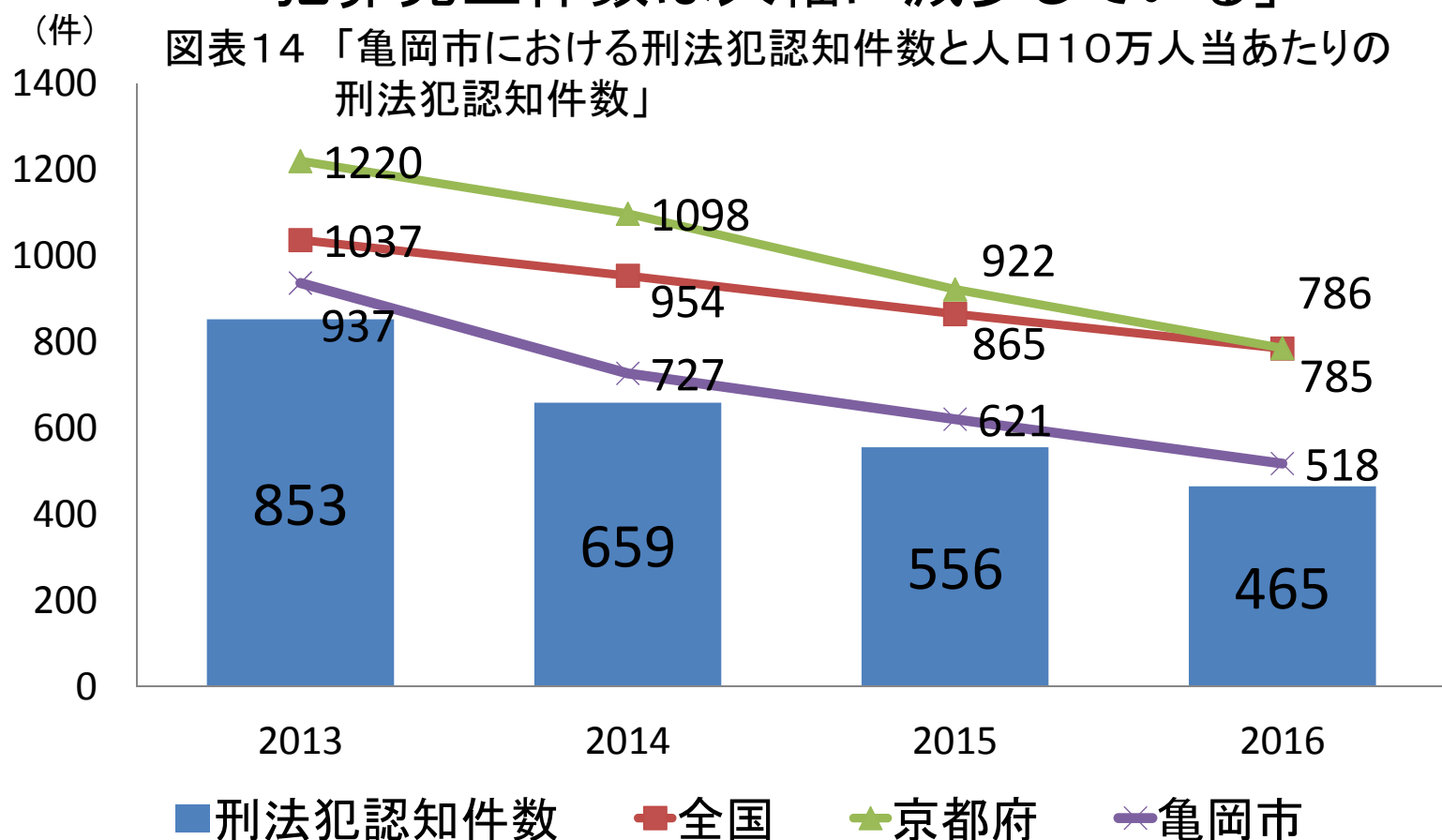


出典: 犯罪統計書(2013-2016) 43

## 取組成果の検証

### 「犯罪発生件数は大幅に減少している」

図表14 「亀岡市における刑法犯認知件数と人口10万人あたりの刑法犯認知件数」

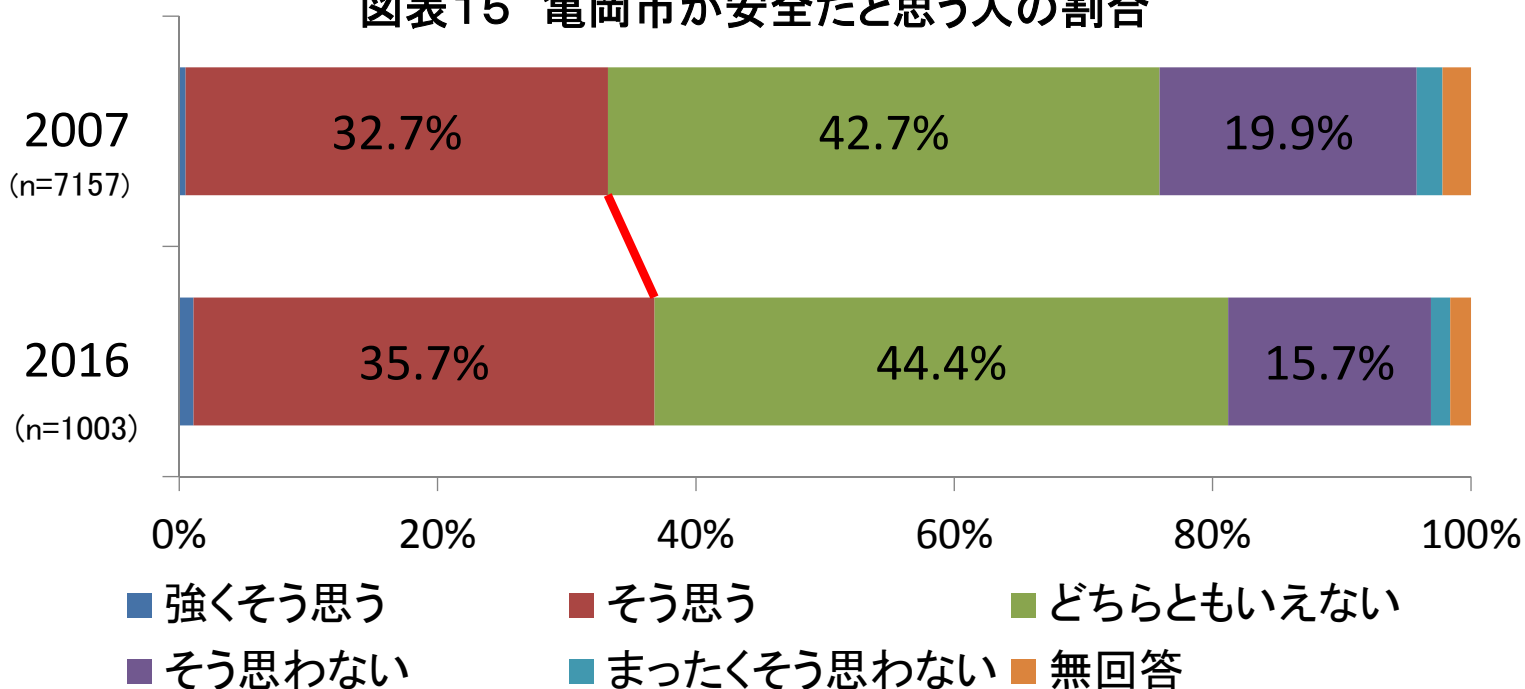


出典: 犯罪統計(2013-2016) 44

# 取組成果の検証

「安全と思う人が増加し、安全と思わない人が減少した」

図表15 亀岡市が安全だと思う人の割合



出典: 亀岡市セーフコミュニティアンケート調査 45

## 気づきや変化

対策委員会の中で、行政だけでは考えつかないような取組が発案され、より多くの団体・企業と防犯対策に関する連携を図ることが出来た。

まち・レコプロジェクト

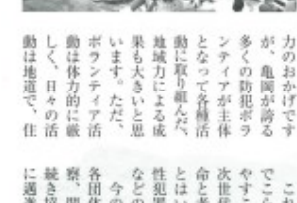
ドライブレコーダーによるまちの見守り協定



# 現在の課題

## 『かめおか「まち・レコ」プロジェクト』への市民ボランティアの参加が少ない。

47



平成25年度第2回支那委員会  
亀岡市若者まつりパレード  
小学生を対象とした防犯学習

足し、亀岡市全域をパトロールで  
あるよう一部の車両を広域指定車  
に指定するなど、犯罪発生率に応じ  
た青色防犯パトロール活動を推進  
しており、私も昨年が会長を務め  
ていました。

亀岡市では、平成24年4月に、  
登校中の児童の列に無免許の少年  
が運転する車が突っ込み、多数の  
死傷者が出た「亀岡暴走事件」が  
発生しており、市内の児童や保護者  
の皆さんの不安感は、発生から5  
年経った現在でも消えていません。  
今後も、私自身が先頭に立って  
パトロールを行うのはもちろん、  
亀岡警察と連携し、この思いが  
風化しないよう各団体と意識共有

を園ついでいきたいと考えています。  
◆「セーフコミュニティ」がめおか  
亀岡市が進めている「セーフコ  
ミュニティがめおか」の専門委員  
会として、平成23年に防犯対策委  
員会が設置され、私は防犯推進委  
員連絡協議会会長として、発足当  
初から委員長を務めています。  
現在6年目を迎えており、まず、  
◆防犯カメラの設置と位置づけ  
◆防犯カメラの設置と位置づけ  
◆防犯カメラの設置と位置づけ

く防犯カメラ」と位置づけ、昨年、  
亀岡市及び亀岡警察署と市内の公  
共交通機関、新聞社、電力会社等  
6社との間で締結された「亀岡市  
ドライブレコーダー」と今年9月に発足さ  
れた市民参加型のかめおか「まち  
・レコ」プロジェクト」等、地域の  
見守り体制の拡大に努めています。  
◆今後につけていきたいこと  
亀岡市内の刑法犯認知件数は、  
セーフコミュニティの認定を受け  
た平成20年以降年々減少を続けて  
おり、平成20年6月末は168件で  
、当時と比較して約75%減少す  
るなど大きな成果を上げています。  
警察や行政機関の皆さんのご理  
力のおかげです  
が、亀岡が誇る  
多くの防犯ボラ  
ンティアが主体  
となって各種活  
動に取り組んだ、  
地域力による成  
果も大きいと思  
います。ただ、  
ボランティア活  
動は体力的に厳  
しく、日々の活  
動は地道で、住

京都府

## 防犯しています！

犯罪を防ぐための活動だけでなく、  
起こさせないための活動が大事  
そのためには、人と人とのつながりが大切！



亀岡防犯推進委員連絡協議会  
会長  
とくら やすきら  
十倉 康吉

プロフィール		
趣 味	海釣り	
モットー	正義感	
好きな花	菊	
特技	七宝焼き作り	
健康の秘訣	早寝、早起き	

◇はじめに  
亀岡市は、京都市や大阪府に隣  
接する人口約9万人の街で、「湯ノ  
花温泉」や「保津峡」など、観光  
地がある一方、京都市西側のベッ  
ドタウンとして宅地開発が進み、  
人の流入が激しくなっています。  
街の歴史は古く、奈良・平安時  
代から丹波國の中心として栄え、  
戦国時代末期には、織田信長から  
拝領した明智光秀が城下町を築き、  
現在の亀岡市の礎となっています。

また、平成20年3月、WHO(世  
界保健機関)から日本初となるセ  
ーフコミュニティの認証を受け、  
安全・安心を実感できる亀岡市を  
目指して、地域、行政、警察等が  
一体となって、さまざまな取組が  
行われており、現在平成30年に控  
えている再々認証に向けて準備が  
進められています。

◆防犯推進委員の活動  
私は平成10年4月に亀岡防犯推  
進委員として委嘱を受け、平成18

年から連絡協議会の会長として活  
動しています。亀岡防犯推進委員  
連絡協議会は平成6年に発足、現  
在は21支部、合計300人(うち  
女性53人)で構成されています。  
平成9年に、防犯活動に必要な  
可欠な女性力の向上を図るため、  
女性委員だけで構成する亀岡平安  
レディース隊も発足されました。  
同委員は、地域安全ニュースの  
地区掲示板への掲示作業、ピラ  
ンク商品の配布、小学校でのこも  
り110番のいえー教示活動、大型  
スーパーやコンビニエンスストア  
における万引き防止・非行防止パ  
トロールを積極的に進めています。  
レディース隊による独自の防犯  
活動、特に亀岡市全域で実施され  
る高齢者や児童等に対する防犯守  
衛は大きな反響を呼んでいます。

◆青色防犯パトロール車の活動  
亀岡市では、亀岡地区社会福祉  
協議会(全数アールイールス)、  
亀岡市、京都府南丹振興局、自治  
会、学校等、平成20年6月末現在  
で21団体129台(府下2位)の  
青色防犯パトロール車が運用され  
ています。

また、平成28年に亀岡青色防犯  
パトロール従事者連絡協議会が発



2018

2019

2020

2021

2022

2023

プログラム① 継続 市民の防犯意識向上と被害防止

プログラム② 継続 固定防犯カメラの増設と設置の周知による犯罪発生抑止

プログラム③ 拡大 「まち・レコ」プロジェクト市民ボランティア参加促進